



むたやま

久留米市立牟田山中学校通信

令和5年5月25日(木)No. 3 文責:校長

素晴らしい体育大会でした！

5月20日(土)に体育大会を行いました。前日の雨も上がり、絶好の体育大会日和となりました。まずは生徒会長の「とうとう待ちに待った体育大会がやってまいりました！今日はいかにかいことがあっても、優しい言葉を掛け合ったり、自分のブロックが優勝しても、しなくても、他のブロックをバカにせず、お互いのブロックを認め合ったり、たたえ合ったりできるそんな学校全体の絆が深まるような体育大会にしていきたい。」という挨拶で始まりました。

大きな声での返事や楽しそうに活動する笑顔、そして何より、学年を超えて懸命に応援する姿が印象的でした。素晴らしい姿を見せてくれて本当にありがとう！

保護者の皆さま、朝早くから昼食の準備やご参観、本当にありがとうございました。

体育大会を終えて各ブロックからコメントをもらいましたので、ご紹介します。

赤ブロック応援団長

僕はこの体育大会でチームワークの大切さがわかりました。僕は応援団長として最初は進行が上手に進まず、たった2週間で完成できるのか不安でした。しかし、赤ブロックのみんなはキツイだけの決して楽しくない練習をやり遂げてくれた、頑張ってくれた、それが何よりうれしかったです。人は1人でできることは限られている。しかし、その限られた知恵を結集させれば、自分の考えている何倍ものスゴイものができる。そんなことを応援団の人達は僕に教えてくれました。本番の応援は成功とはいきませんでした。それまで頑張った小さな努力1つ1つに意味があると思います。そしてこれからは何事にも全力で頑張った後輩、準備をしていただいた先生、自分の不安を励ましてくれた友達や家族、その他この体育大会に関わった多くの人に感謝の意を見せられるような行動をしていきたいと思っています。

赤ブロック ブロック長

僕がブロック長の経験を通して感じたことは、人を動かすことの難しさです。200人近くの人をスムーズに動かすことは難しく、考えることもたくさんあって大変でした。しかし、そんな中でも優勝することができたのは、先生方、そしてリーダーをはじめとする周りの人達が支えてくださったおかげだと思っています。僕はそんな周りで支えてくださった人達へ感謝したいです。体育大会は終わりましたが、これからもこの経験を学校生活に活かしていきたいです。

赤ブロックパネル長

赤ブロックはパネル賞を取ることができました。でもそれは一緒に競い合える紫ブロックや白ブロックがいたり、パネルリーダーがいたりしたからだだと思います。私はパネル長になって集団をまとめるにはどんなことを計画しどんなふうにとまとめるのか学ぶことができました。この体育大会で学んだことを忘れずに、これからの学校生活に活かしていきたいと思っています。



白ブロック応援団長

応援団長になってうまくいかず涙を流したことがあったけど、ここまで続けてこられたのは援団のみんなや家族、地域の方々、先生方が支えてくれたからです。本当にありがとうございます。体育大会当日ではもちろん全力で競技や演舞をしたけど、残念ながら総合優勝はとれませんでした。でもここまで白ブロックのみんなが私についてきてくれると思いませんでした。白ブロックのみんなそして今まで練習してきた援団、本当にありがとうございました。

白ブロックブロック長

体育大会の練習から本番を通して思ったこと考えたことは、自分の成長できる場になったということです。最初はリーダーを甘く見ていました。甘く見ていたから何度も指導を受けたと思いました。けれど、その熱い指導のおかげで4月はじめから変わった自分が今ここにいると思います。さらに、優勝など賞はとれませんでした。よい思い出になったと自分は考えています。

白ブロックパネル長

私は白ブロックパネルリーダー全員でパネルをかけてよかったです。パネル賞はとれなくて悔しかったけど、どのブロックのパネルもとてもきれいでよかったです。はじめは自分にパネル長が務まるのか心配だったけど、みんなが認めてくれて支えてくれてきれいなパネルが完成できたのでよかったです。



紫ブロックブロック長

自分が体育大会を終えて考えたことは、多くの方々への感謝です。紫ブロックのブロック長としてここまで来られたのは、たくさんのサポートをしてくださった先生方や保護者の方々、そして何より、こんな自分を信じて純粋についてきてくれたリーダーを含む紫ブロックのメンバー1人1人がいてくれたからです。結果よりもまず真っ先にその感謝が思い浮かびました。当たり前のことかもしれませんが、そんな多くの方々への感謝を胸に、体育大会で学んだこと、そして高められたクラスの団結力をこれからの学校生活にも活かしていきたいです。

紫ブロック応援団長

自分が体育大会を終えて考えたことは「仲間を信じる」ことです。自分は紫ブロックの団長をしました。団長をする中で援団のみんなを信じて応援の部で優勝することができました。優勝できたのは、自分の力ではなく、応援リーダーの支えだと思います。だから、何事にも仲間を信じて前に進む、これをこれからの学校生活に活かしていきたいと思います。

紫ブロックパネル長

紫ブロックはパネル賞を獲得することができませんでした。ですが、パネルリーダーの仲間たちと協力し、最後まで全力を尽くして作った作品はとても素晴らしく、私の中では1番の作品です。私はパネル長になって集団を率いるにはどんなことが大切なのかを学ぶことができました。この体育大会での経験を活かし、これからも色々なことに挑戦していきたいと思います。

